



日本SPR工法協会

堺市幹線下水道管の破損事故復旧で SPR-SE工法が採用されました!



復旧の様子を実際に破損した管の一部を使用して再現

事故発生



地表部

事故当時の写真



復旧完了



地表部

復旧工事施工後の写真



管内部



管内部

事故発生から復旧までの概略

2017年10月、今池水みらいセンター内の堺市幹線下水道管破損事故により下水があふれ、下水道の使用自粛などが発生しました。事故当時、台風21号の記録的豪雨により浸水が発生する中、緊急措置が行われ、1年余りをかけて下水道管の復旧に至りました。工事は、破損した管と同位置に、先行して鋼管を布設、次に下水が流れていても施工が可能で自立強度をもつ製管工法である「SPR-SE工法(日本SPR工法協会)」により更生されました。

【SPR-SE工法による工事施工者: 大容建設株式会社】